

八重歯の場合（叢生5・そうせい）



歯の大きさに比べて顎が小さい場合や、乳歯の奥歯を早い時期に失った場合に起こります。程度が軽い場合には本格的な矯正装置（マルチブラケットシステム）で顎を拡げ歯並びを整えます。あまりにも顎を拡げすぎると口元がふくらんでしまいますので限度があります。程度がひどい場合には永久歯を抜いて顎の大きさに見合った数にし、マルチブラケットシステムで歯並びを整えます。隙間が余った場合には奥歯を前にずらし、全ての歯でがっちり噛めるようにします。矯正治療で使用する装置には色々な種類があります。私の診療所で使用していますマルチブラケットシステムは、装置自体は以前のものと比べかなり目立たないようになっており、少し離れるとほとんど気づき

ません。少しでも矯正装置を入れることへの負担が軽減されるよう、治療期間を短くするように常に心がけて診療しています。

実際の治療例



初診時



治療開始



6ヶ月後



12ヶ月後



保定装置



保定装置

治療費概算

一般的な八重歯で動的処置に18ヶ月掛かった場合

初診、相談料	無料
診査診断料	32,400円
施術基本料	453,000円（10回までの分割が可能です。）
処置料	5,400円×25回＝135,000円

動的処置中：歯を動かしている最中は3～4週ごと通院、18回

保定期間中：18ヶ月の間に7回程度通院 合計：620,400円

注：施術基本料には抜歯料金が含まれています。



TEL 095(857)8211

日本小児歯科学会認定 小児歯科専門医 行成 哲弘